

と柳田にまかせ切りでした。最終的な判断は自分がしていました。

早くから主人に死に別れ、女主人ではあつたが、自分の仕事は社員のコミュニケーションに重点を置きました。時々社員の妻との連絡、社員の家庭に目を注ぎ、幾百人の大家庭の女主人ともいえましたね。

— 社員の世話をよくされたとか…。

柳田 住いを海岸通の店から須磨に移し、屋敷が広かつたので自分と男衆と野菜をつくり、会社へ持つてゆき社員に家庭に持ち帰らせました。社員の結婚相手は自分が走り回り、候補者を探し結婚式には式服いつさいを与える給料も必ず上げ、わが子の結婚式と同じようにしてました。

自分の子供は男の子であつても会社の重要なポストを与えない。

これは大阪商人の習慣であつて、娘には将来見込みのある青年と結婚させ重役にした。高畠誠一（日商岩井）がその見本で彼は若くしてロンドン支店長としてその手腕を發揮し、日本一大の太商社に发展させた人物です。

旅の思ひ出

(7) 藤澤義夫

九州路ところ処（下）

雲仙—島原—阿蘇

未だ国鉄新幹線の無い頃、長崎本線の諫早で下車神戸からの長旅での腰の労れを伸ばした後バスに乗り換へて雲仙に向ふ。途中窓の外の民家の堀越しに、いかめしい一人の軍人の立像が屹立しているのが目についた。敗戦後の事であり世間では軍人の像は殆んど撤収されていたが、吾が家の庭に立つていて何の咎めがあらうといふ事だらう銅像の主は海軍の（旅順閉塞）広瀬中佐と並び称された陸軍の橋（大隊長）中佐の勇姿である。途中愛野の展望台のある処で少憩、眼下に広がる波静かな湾内を俯瞰してゐる内フト中学の同窓田村君の面影が浮かんで来た。彼は中学四年から海兵に進み、航空中尉の時この大村湾上空で僚機と接触墜死した。彼は兵庫県朝来郡の郡長の息で名は英俊惜しい男を亡くしたものである。一年下の庵原貢君が、更生連合艦隊司令長官を経て、鈴木貫太郎終戦内閣の秘書官を勤

日でも遅いと離縁してやるから帰らずともよいといつて見たり、またよく遊んだ人で夜遅く店に帰り戸をトントンとたたいて起きて出るのが少しでも遙くなるとすぐ引き返して泊つてくるといったちょうど六十歳で亡くなりました。お家はんは自分は女主人であるといった意識が強く、お正月には亡き主人が使っていた赤膳でお祝いをしました。昔は男が赤膳で、女は黒膳をつかったものです。社員を集めてその前で自分は女主人であることを誇示したのでしょうか。お月には社員全員を家族同伴で須磨の鈴木御殿へ招待し、お祝いをしました。その時一年中のもうい物は蔵の中へ入れて置いて、それを出して福引会をやり、砂糖や羊かんはぜんざいにして子供たちに食べさせてました。羊かんはカチカチになつて

— ところどころの岩治郎はどうな人でしたか。

柳田 大将はたいへん厳しい人で、気の荒い人でした。妻よねが姫路へ里帰り、そして帰る日が一日でも遅いと離縁してやるから帰らずともよいといつて見たり、またよく遊んだ人で夜遅く店に帰り戸をトントンとたたいて起きて出るのが少しでも遙くなるとすぐ引き返して泊つてくるといったちょうど六十歳で亡くなりました。お家はんは自分は女主人であるといった意識が強く、お正月には亡き主人が使っていた赤膳でお祝いをしました。昔は男が赤膳で、女は黒膳をつかったものです。社員を集めてその前で自分は女主人であることを誇示したのでしょうか。お月には社員全員を家族同伴で須磨の鈴木御殿へ招待し、お祝いをしました。その時一年中のもうい物は蔵の中へ入れて置いて、それを出して福引会をやり、砂糖や羊かんはぜんざいにして子供たちに食べさせてました。羊かんはカチカチになつて

いるし、カステラはカビが生えていましたので私などよくカビ臭いカステラをいただいたものです。社員の転勤には必ず餞別に浴衣一反をそえて与えられました。

早くも女子の商業教育について

— お家はんの女子教育について

柳田 年をとられてからこれが女の社会は女子が男性の分野へ進出する時代が必ずくる。それには女子に商業教育が必要であるとの考えから神戸女子商業学校を元町四丁目山側に創設しました。私の

県商時代にですが、岡田校長を引き抜いて女子商業の校長に迎えました。卒業式には必ず全員を自宅に招待してお祝いをしていました。

イターラー部もあり、卒業生を会社に採用し、現在「辰巳会」の会員の中にも当時会社のタイピストのお婆さん三人が健在です。

— 大正七年の焼き打ち事件のときどうしてましたか。

柳田 私はその時海外へ出張をしていまして、帰つてからお見舞いに参りますと、お家はんは何事もなかつたかのように平然としていました。羊かんはカチカチになつて

— 晩年はいかがでしたか。

柳田 お家はんは魚つりが好きで、塩屋の浜へよく出かけていました。また和歌にこつて西宮の吉井さん（戎神社）へ月二回ほど通つていました。

お家はんからの教訓

— あなたがお家はんから得た教訓は…。

柳田 私は子供のころ毎日のように碁盤に向つて五目並べの相手をさせられました。お家はんはい

んそれ止めんかいな」といわれました。普通は三目で止めるのが、いつも二目並んだらすぐに“義ちや

なせ二目で止めるのか、今から考えますと何事も早い目に手配しろ、早い目に対策をたてよとその時代としては珍しいタイプ

の教訓だったんですよ。

— あなたがお家はんから得た教訓は…。

柳田 私は子供のころ毎日

だけの淋しい処だったが今は洋館の料飲店が立並び賑かな遊楽地と

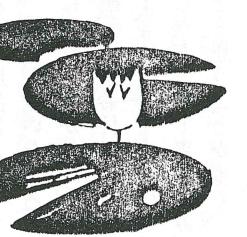
変つてゐた。しかし薩摩藩の武士達が廻水に杯を浮かべて酒宴を張つたと言ふ「曲水の庭」は昔の儘

鹿児島は景勝地へ通ずる幹線道路が良く整備されてゐて道の中央

と両側にはハイビスカスが咲き競ひ見事だった。又ハネムーンのメツカ指宿を経て長崎鼻にある西洋

植物公園は珍らしい植物や採色美しい鳥類が頭の上を飛び交ひ異国に來たような感を覚えた。又一抱

へもある大鰐の棲息する池田湖を訪ね实物を検分した。そして帰りは鹿児島空港から羽田へ直航した。



古出よね姉の思い出

唐戸登美

鈴木タイプ一代女

去る昭和五十八年二月二十一日

突然古出さんが交通事故で兵庫医大病院に御入院と言う電話を姪御さんの三重さんから頂いた。

折り悪しく御宅の前での遭難で頭部打撲、意識不明、手術不明の三悪条件の下に危篤と言われたので娘の言うがままに大急ぎで仕度

夕刻川崎を出航した一万屯の力

突然古出さんが交通事故で兵庫医大病院に御入院と言った電話を姪御さんの三重さんから頂いた。